

令和8年一番茶萌芽宣言

—令和8年一番茶萌芽と防霜対策の徹底について—

令和8年4月3日
京都府農林水産技術センター
農林センター茶業研究所

1 本年の一番茶萌芽宣言

1～3月の平均気温はやや高く～高く推移し、本年の一番茶萌芽宣言は、平年より一日早い4月3日となりました。

◆萌芽宣言：前年、平年との比較

| 令和8年 | 令和7年 | 前5か年平均 | 平年 |
|------|------|--------|------|
| 4月3日 | 4月4日 | 4月1日 | 4月4日 |

平年：平成8年から令和7年までの30年間の平均

◆本年の気象推移（参考 - 図2参照）

【平均気温】

平年と比べ1月と3月はやや高く、2月はかなり高く推移した。

平年差 1月：+0.5℃、2月：+2.4℃、3月：+1.1℃

【降水量】

平年と比べ1月～3月の降水量はかなり少なかった。

平年比 1月：0%、2月：9.4%、3月：14.1%

※本年の気温及び降水量については、農林センター茶業研究所内自動気象観測装置の不調で欠測が続いたため、気象庁地域気象観測システム（アメダス）の京田辺観測地点データから参照。

★お茶の『萌芽』

春になると、包葉の中から芽が伸びてきます。芽の先端が包葉の約2倍に達した状態（図1参照）を『萌芽』としています。

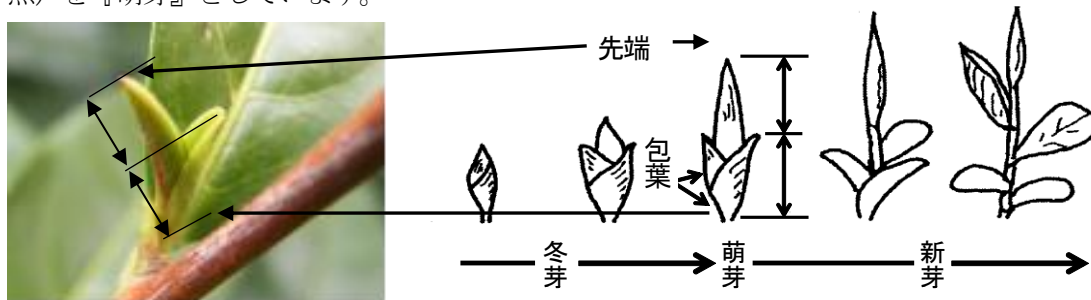


図1. 左：『萌芽』したお茶の芽 右：冬から春にかけての茶新芽の生長

★「萌芽期」と萌芽宣言

萌芽した芽の割合が70%に達する時期を「萌芽期」と言います。萌芽宣言は、当所作況園の萌芽調査結果から「萌芽期」を予測して、日付を決定しています。

2 今後の天候情報と茶園管理について

大阪管区气象台から令和8年4月2日14時30分に発表された1か月予報（近畿地方）によると、4月4日から5月3日にかけては、平年より気温が高くなる確率が80%と予想されています。今後は気象庁等の予報を十分に意識し、以下のことに気をつけてください。

(1) 茶園管理について

今後、茶の新芽の生育が早まることが予想されます。茶園管理が遅れることのないよう気を付けましょう。特に被覆の開始時期が遅れないように、周到に作業を進めてください。

(2) 低温への対応について

茶の新芽は生育に伴い耐凍性が急速に失われるため、晩霜害の被害に留意する必要があります。特に移動性高気圧に覆われる日は、日中が暖かくても夜間の冷え込みが厳しくなり晩霜に見舞われる危険性が高くなります。**霜注意報や予想最低気温に注意**して防霜対策を徹底してください。

◆ 主な対策

防霜ファン：使用前に点検を済ませ、最大限の効果を得るために設定温度5℃を目安に稼働

棚被覆：翌朝の降霜が予想されている日の夕方に行う

スプリンクラー散水：使用前に点検を済ませ、摘採面温度2℃を目安に稼働

〈参考〉

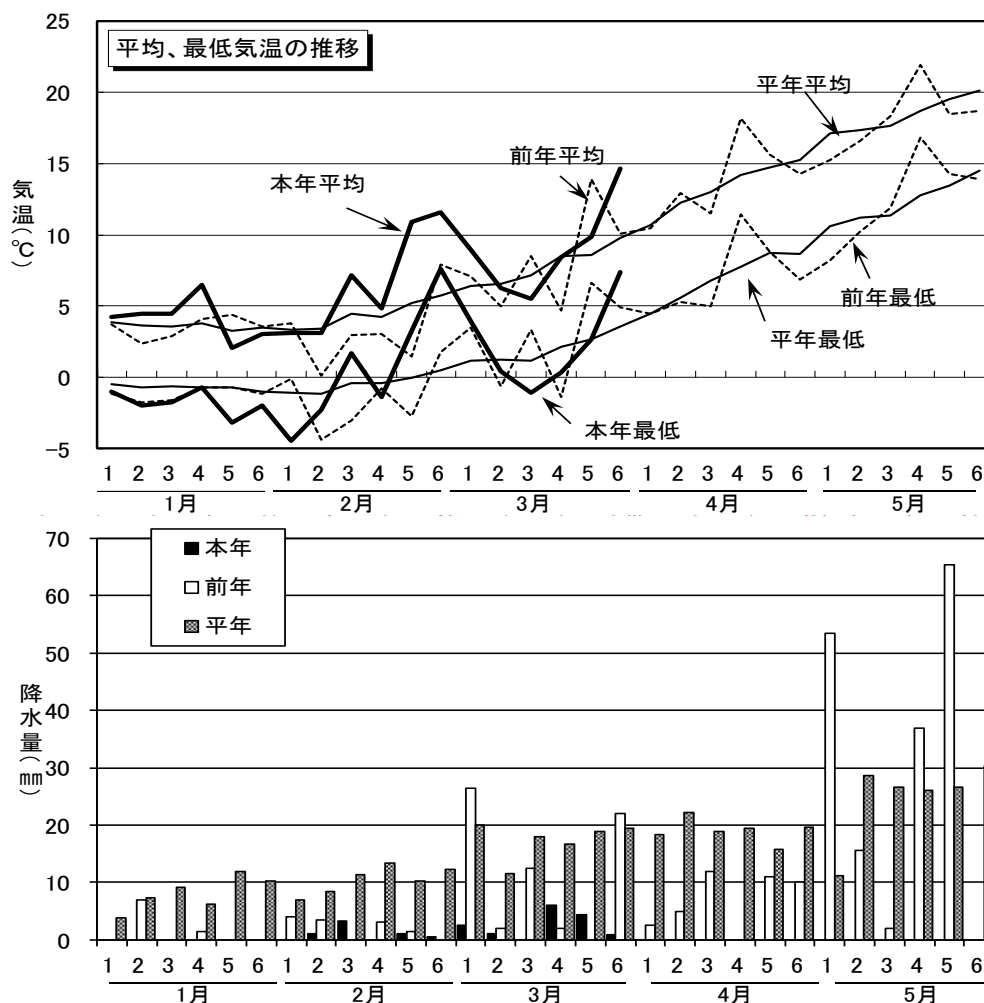


図2 令和8年冬季～春季の気象推移(平均気温、最低気温、降水量)

- 1) 本年の気温及び降水量については、農林センター茶業研究所内自動気象観測装置の不調で欠測が続いたため、気象庁地域気象観測システム(アメダス)の京田辺観測地点データから参照
- 2) 平年値は、平成8年から令和7年までの平均値(30年間)、自動気象観測装置のデータから平均値を算出
- 3) 平年値の観測場所は、農林センター茶業研究所(宇治市白川中ノ菌1番地)

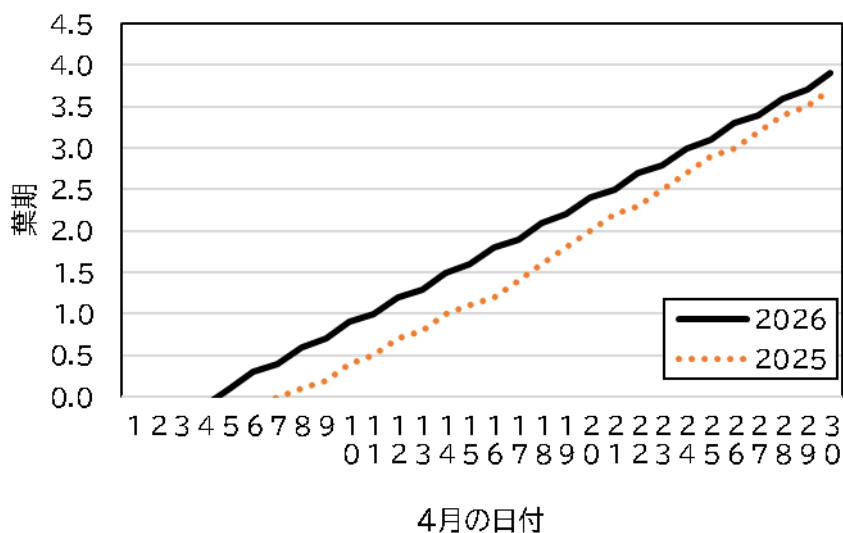
表 1月～3月の平均気温及び降水量並びに萌芽宣言日及び摘採日

| 期間 | 平均気温(°C) | | | 降水量(mm) | | | 萌芽宣言 (月日) | 摘採日 (月日) | 生育日数 (日) |
|---------------|----------|-----|------|---------|----|-----|--------------|-------------|-------------|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | |
| 令和8年 | 4.1 | 6.8 | 8.9 | 0 | 6 | 15 | 4月3日 | - | - |
| 令和7年 | 3.5 | 3.0 | 8.2 | 9 | 12 | 65 | 4月4日 | 5月3日 | 29 |
| 平年 | 3.6 | 4.4 | 7.8 | 49 | 63 | 105 | 4月4日 | 5月5日 | 31 |
| 前5か年 | 3.8 | 4.7 | 8.9 | 31 | 41 | 99 | 4月1日 | 5月2日 | 31 |
| 萌芽宣言最も早い 令和5年 | 3.4 | 4.2 | 10.1 | 27 | 27 | 53 | 3月28日 | 4月28日 | 31 |
| 萌芽宣言最も遅い 平成8年 | 3.4 | 2.3 | 6.3 | 50 | 42 | 179 | 4月11日 | 5月16日 | 35 |
| 〃 平成17年 | 4.0 | 4.5 | 7.3 | 43 | 71 | 98 | 4月11日 | 5月7日 | 26 |

- 1) 京都府茶業研究所調べ
- 2) 平年は平成8年から令和7年の平均値
- 3) 萌芽宣言の早さは平成6年以降の記録
- 4) 摘採日は京都府茶業研究所内作況園自然仕立て(「やぶきた」手摘み)の摘採日
- 5) 生育日数は萌芽宣言翌日から摘採日までの日数

◆新芽の葉期予測

当所園内の「やぶきた」機械摘みにおいて、4月2日時点では、本年の新芽が1.0葉期になるのは昨年よりやや早い4月11日と予測しています(昨年4月14日)。
 ※生育予測は萌芽宣言を行う作況園とは別の茶園で実施しています。



| | 1.0 葉期 | 1.5 葉期 | 2.0 葉期 | 備考 |
|-------|--------|--------|--------|-----|
| 2026年 | 4月11日 | 4月14日 | 4月18日 | 予測値 |
| 2025年 | 4月14日 | 4月18日 | 4月20日 | 実測値 |

図3：葉期の予測結果

◆茶生育等予測マッピングシステムによる葉期・摘採期予測

茶生育等予測マッピングシステムでは、茶園毎に気温を推定できるモデルを構築(山城地域、中丹地域、丹後地域で使用可能)し、加えて推定された気温に基づいて生育予測モデルを作成しています。この生育予測モデルを用いることで、葉期や摘採期などの予測も可能となります。